

わたしの議会。



10月11日～12日 平成30年は三田市制施行60周年となり、三田市議会交流訪問の際に、市議会交流の記念プレートをいただきました。

とば市議会だより 目次

平成29年度決算の概要…………… 2	委員会行政視察報告…………… 7
常任委員会報告…………… 3～4	鳥羽市議会生放送のお知らせ… 7
議員別表決結果…………… 5	きらり輝く人達、他…………… 8
一般質問…………… 6～7	

平成29年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、鳥羽市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正についてなど、議案8件と発議4件、請願4件を審議しました。

平成29年度 決算の概要

平成29年度の決算は、一般会計では実質収支が2億1227万4000円の黒字となりましたが、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では5430万2000円の赤字となりました。

また、特別会計では実質収支において国民健康保険事業で9765万4000円、介護保険事業で6032万2000円、後期高齢者医療で452万6000円の黒字となっており、5事業の合計で1億6250万4000円の黒字となりました。

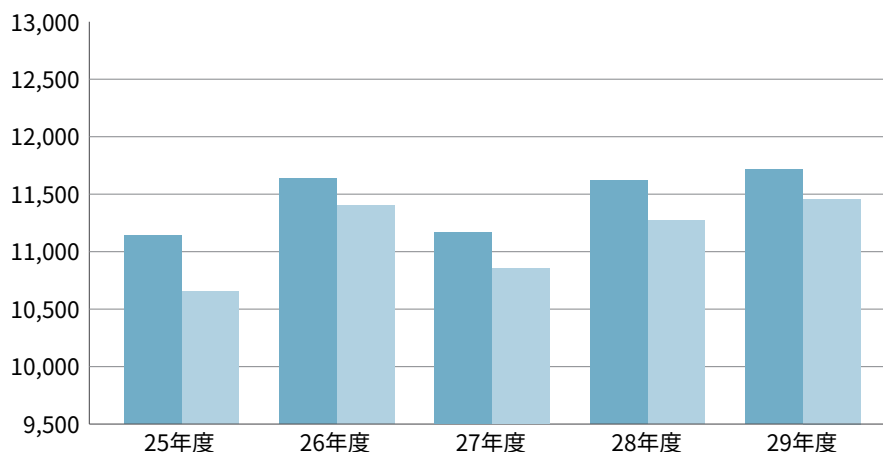
平成29年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

平成29年度 会計別決算状況

(単位：千円)

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	平成28年度 実質収支	平成29年度 単年度収支
		A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
一般会計		11,648,974	11,430,864	218,110	5,836	212,274	266,576	△ 54,302
特別会計	国民健康 保険事業	3,342,789	3,245,135	97,654	0	97,654	13,469	84,185
	介護保険 事業	2,746,969	2,686,647	60,322	0	60,322	19,102	41,220
	定期航路 事業	600,440	600,439	1	0	1	1	0
	特定環境 保全公共 下水道事業	138,578	138,577	1	0	1	1	0
	後期高齢者 医療	526,835	522,309	4,526	0	4,526	5,304	△ 778
	小計	7,355,611	7,193,107	162,504	0	162,504	37,877	124,627
合計 (一般+特別)		19,004,585	18,623,971	380,614	5,836	374,778	304,453	70,325

一般会計決算規模の推移



	歳入	歳出
25年度	11,141	10,656
26年度	11,638	11,400
27年度	11,167	10,853
28年度	11,615	11,348
29年度	11,649	11,431

戸上 健

税金や雇用の効果は

市長

少しずつ

発揮していくと

期待している

問 税金や雇用の効果をどう捉えていますか。

答 市長 雇用創出や地域経済の活性化につながる事業として、海女文化を活用した地域活性化のプロジェクト、とばとび活躍プロジェクトを推進し、市内の雇用や経済が活性化する施策に引き続き、注力してきました。税金効果は、少しずつ効果を発揮していくものと期待しています。雇用の効果は、宿泊産業への就労体験のバスツアーの開催や、宿泊産業等雇用の実態調査などを実施してきました。今後の雇用につながっていくことと確信しています。

常任委員会報告

● 各常任委員会に8議案と4請願が付託されました。

総務民生委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(議案第9号 鳥羽市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について)(市議会議員選挙において選挙運動用ビラを頒布することができるようになったことから、その作成費用を公費に負担することができるよう、所要の改正を行う。)

問 ビラ作成により公費額はどれくらいになるか。

答 前回の立候補者数17人で仮に計算をしたところ、おおよそ68万円くらい必要となる。

文教産業委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(請願第3号から第6号について、請願人の代表として三重県教職員組合志摩支部長の中岡清氏を参考人として招致)(請願第3号 義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願)

問 道具やインフラの整備等順序をどのように考えているか。

答 子どもたちに学力やコミュニケーション能力等多様な力をつけたいと考えている。物や人、ありとあらゆる方法、要素があると思うが、第一は子どもたちの力をつけることが基本になつてくると考えている。

予算決算委員会

問 パソコン等職場の環境を整えた方が時間外労働時間の削減につながると思うが、環境と人員についてどう捉えているか。

答 環境も業務をスリム化する一つだと思うが、休憩時間や放課後も子どもたちの関わりが必要になつてくる。学校によっては曜日を決めて放課後学習をやっている学校もあると聞く。最終的には子どもに接するのは人と考えている。

審査の主な内容は、次のとおりです。

(認定第1号 平成29年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定)

(請願第4号 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願)

各担当課への主な意見は次のとおりです。

市民課

地域の高齢化が進み町内会などの担い手が少なくなっていく中、自立を助ける集落支援員事業の役割はその比重を今後とも増していく。果たしている役割を広く内外に伝え、支援員のなり手をさらに広げてもらいたい。このことは、市民課だけではなく集落支援員事業を担当する他課においてもお願いしたい。

健康福祉課

本市の生活困窮者自立支援事業は全国的にも注目されている。平成29年度は新たに学習支援事業を加え、学ぶ中学3年生全員が志望の高校に合格するなどの成果をあげている。また、自立に向けた支援プランの作成においても10万人当たりの作成件数で県下トップであり特筆すべき取り組みをしている。

農水商工課

漁業就労応援事業はわずか

50万円の予算であるが、10代20代の若者2人が漁業に就労する道筋をつけ始めている。待望された後継者を生み出すことにとどまらず定住にもつなげている。費用対効果の好事例といえる。起業育成支援事業は55万円の予算計上しかなかったが、神島での起業と鳥羽での移動販売の創業計画が生まれた。これもまた費用対効果の面で評価に値する取り組みとなった。

教育委員会総務課

廃校となった学校跡地の草刈りなどの管理を、町内会を中心にした当該地域住民が支えている。町内会の運動会を行っている地区もあり、子どもたちと地域住民の絆を強めている。こうした在りようをさらに市内全域に広げてもらいたい。

生涯学習課

予算を伴わない事業の人材育成事業で、鳥羽高校生が地域研究サークル「とばっくらぶ」へ入塾し、生徒自身が企画する観光プランが「観光甲子園」銅

賞を得た。地元高校との新しい力の発揮として注目される。

海の博物館運営事業は、海女文化の拠点としてふさわしい取り組みに着手しており、三重大学のサテライト開設とあわせ、運営協議会での強化策を期待したい。

提言書

昨年度に引き続き今年度も提言書を市長に提出しました。提言項目は次のとおりです。

1. 歳入「ふるさと納税」について新たな探求・開拓に努められたい。
2. 地域の担い手不足が顕著の今、集落支援員事業はますます重要度を増しているため、集落支援員の果たす役割を広く内外に伝え、支援員のなり手の拡大に努められたい。
3. 獣害対策事業は、市として熱心な取り組みはあるものの、依然として住民に被害をもたらしているため、更なる拡充を図られたい。
4. 消防署員定員が46人のまま

推移し、消防庁の消防力の整備指針の人数より下回っている。また、夜間の離島救急体制も危惧されており、消防力強化に引き続き努力されたい。

提言書はホームページでも公開しています。



10月15日 市長室にて

人事

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることに同意

小中ちよう氏(再任)
山本英子氏(再任)

議案番号	議案名	議決日	審議結果	奥村敦	片岡直博	河村孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	尾崎幹	坂倉紀男	
5	平成30年度鳥羽市一般会計補正予算(第3号)	9月6日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
6	平成30年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
7	平成30年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
8	平成30年度鳥羽市一般会計補正予算(第4号)	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
9	鳥羽市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	○	○	
10	平成29年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
認定1	平成29年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
認定2	平成29年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
諮問2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
請願3	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
請願4	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
請願5	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
請願6	防災対策の充実を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
発議5	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
発議6	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
発議7	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
発議8	防災対策の充実を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
報告3	平成29年度鳥羽市健全化判断比率の報告について	報告につき採決なし															
報告4	平成29年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告5	平成29年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告6	平成29年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																
報告7	一般財団法人鳥羽市開発公社及び公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告について																

議長につき表決なし

これが聞きたい・ここが聞きたい

一 般 質 問



9月10日に2人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
9月10日(月)	戸上 健	敬老月間にふさわしい高齢者対策について 実りの秋を脅かす鳥獣対策について 「国際観光文化都市」鳥羽の文化政策について
	坂倉広子	防災減災対策について 乳幼児感染症に対する鳥羽市の取り組みについて SDGs(持続可能な開発目標)の推進について

いきいきお出かけ券の 離島共通券は

健康福祉課長

検討していきたい

問 いきいきお出かけ券の離島共通券が欲しい、融通のきく利用はできないかという相談がありました。検討はどのようにしていますか。

答 健康福祉課長 全部の離島で使えるいきいきお出かけ券の設定というのは、特に本土にお住いの高齢者の方が離島に行かれる場合、周遊された場合など、高齢者の収益改善等については有効かというふうに考えています。しかし、ほかの券との均衡等を考える必要もあると思いますので、定期船課等とも引き続き協議をしていくことも含めて、継続して検討していきたいと思えます。

獣害対策は

農水商工課長

おじろ用心棒を導入していきたい

問 獣害対策について課の方向性を聞きます。

答

農水商工課長 おじろ用心棒について市で導入をしていきたいと考えています。また、現在、鳥羽市と志摩市、JA鳥羽志摩、県の農業普及センターで組織している鳥羽志摩農業協議会で本市へホカクンという鳥羽商船高等専門学校と県の技術研究所が共同開発した檻を試験的に設置したいという話をさせていただいています。市の園芸センターも含めて耕地を選定して効果が確認できれば、農業者向けの獣害資材の紹介の場として、生産者の方に新しい資材を活用して広げていただくとともに取り組んでいきたいと思っています。



期待される効果の高い檻(ホカクン)



戸上 健

女性視点の 防災ブック作成は

総務課副参事

内容を充実させたもの
に取り組みたい

問 避難所開設運営状況、町内会との
連絡連携の状況について聞きます。

答 総務課副参事 災害時地区指定員
に事前連絡し、町内会、自治会と
連携して避難所開設を行います。
避難所開設は基本的に災害時地区
指定員が対応しますが、避難準備・
高齢者等避難開始の情報発令前に
住民が自主避難される場合は、町
内会、自治会と連絡連携をとり、
避難所開設をしています。

問 風水害では、どのような時に避難所
を開設しますか。

答 総務課副参事 当該地域住民に対
して避難準備・高齢者等避難開始、
避難勧告、避難指示（緊急）と3
種類ある避難情報を発令した場合
や、住民みずからが身の危険を感
じ自主避難する場合等に避難所を
開設します。



東京都が作成した女性視点の防災ブック
「東京くらし防災」

問 避難情報の周知はどのように行っ
ていますか。

答 総務課副参事 市民などへの周知
は防災行政無線、とばメール、エリ
アメール、テレビなどを通じて行わ
れます。

問 女性の視点を生かした防災ガイド
ブックを作成する考えはありませ
んか。

答 総務課副参事 既に女性の視点を
組み込んだ計画やマニュアルとなっ
ており、今後、新規作成、改訂す
る際には、さらに女性視点で考えた
内容を充実させたものに取り組み
たいと考えております。



坂倉広子

▶ 委員会行政視察報告

行政視察の報告書について今年度から各議員の
報告書をホームページにて公開しております。現
在公開している報告書は次のとおりです。

文教産業常任委員会

視察日 7月5日～6日

視察先 岐阜県高山市・岐阜県飛騨市

鳥羽市議会 生放送の お知らせ

市議会では、Ustream（ユーストリーム）で生放送を、YouTube（ユーチューブ）で
録画放送を行ってきましたが、YouTubeで生放送・録画放送の両方を行うことになり
ました。今後はUstreamでは配信を行いませんので、ご了承ください。

鳥羽市議会 YouTube X 🔍 検索

※スマートフォンやタブレット端末からの視聴はパケット通信料がかかります。

年賀状の自粛申し合わせについて

市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自粛することを申し合わせておりますので、
市民の皆様のご理解をお願いいたします。



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画、今回は才能コーディネーター・お役割鑑定士・心理カウンセラーのみやざきみわさんです。

プロフィール

みやざきみわさん

九鬼水車の子孫。祖父母が尾鷲市九鬼町から鳥羽市に移住、鳥羽市にて生をうける。その後、伊勢市に15年住み、現在は名古屋にオフィスを構える。自らが考案した人間学「十三導」を用いて、チャンスや人の才能を引き出すことのお手伝いをしている。主に子育てに役立つ鑑定、社員一人ひとりの才能を伝え共有しあうことから最強のチームが出来るよう企業における鑑定など。著書「13の性格」(現在、世界3カ国発売)では、短所とは人の物差しで角度を変えれば才能だと伝えている。

公式サイト：<http://miyazaki-miwa.com/>

米国シアトルソイソース連載コラム：<http://www.soysource.net/rensay/oyakuwari/>

FM山形スマイルボックス：<http://www.rfm.co.jp/program/smile-box/>

Facebook [13の性格 みやざきみわ](#) Instagram: [miyakonooyakuwari](#)

— 今の職業に就くまでどのような巡り合わせがあったのでしょうか。

「個々の資質を知り組織に生かしたい」と会社経営者でもあり、作家である樋口卓治先生が伊勢にいられたのがきっかけです。先生に大変感銘を受けて頂き世に広めようとの声で出版に至り十三導が生まれました。

— たくさんの方の魅力を見てきたみやざきさんにとって、鳥羽の街はどんなところが魅力だと思いますか。

やはり自然と空気などのロケーションだと思っています。昨年、親の介護で三重県を離れたましたが、鳥羽に泊まりに行きますと、朝陽ひとつ浴びるだけでも、体にエネルギーを充電した気持ちになりますし、自然のありがたみをとっても感じます。

— 最後に、鳥羽市民へメッセージをお願いします。

先日、鳥羽青年会議所様で講話させて頂きました。頑張っておられる次世代の皆様へ感銘を受け、私が生まれた鳥羽への恩返しがお役割の一つだと思います。是非にお役に立てるご意見などお声かけ頂けたらと思います。

編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより) 第165号をお届けします。

今号で見てほしい点は予算決算常任委員会の報告です。「認定第1号 平成29年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について」は全会一致で認定されましたが、4日間にわたっての委員会、初日は午前9時～午後5時18分までの時間を要しての審査でした。委員から事業評価等、次年度予算につながる活発な意見がありました。

この紙面上では全て報告できないのが、少し残念ですがYouTubeで録画配信をしていますので見ていただければ嬉しいです。

記 浜口一利



初日の議員間討議は約1時間程議論しました。

広報広聴委員会	委員長	山本哲也
	副委員長	井村行夫
	委員	奥村 敦
	委員	河村 孝
	委員	木下順一
	委員	浜口一利
	委員	世古安秀